

令和元年度実施の認証評価結果における大学等の優れた取組みについて

公益財団法人 日本高等教育評価機構

1. 大学

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 1. 使命・目的等	1-1. 使命・目的及び教育目的の設定	桜美林大学	大学の国際化に向けて、具体的な数値目標のもとに戦略が組まれていることは評価できる。
		サイバー大学	通学不要なメディアを利用して行う通信教育の展開は、特色ある教育として、高く評価できる。
		長崎国際大学	初年次教育の「ホスピタリティ概論」は、ディプロマ・ポリシー到達の基盤を形成する必修科目で、個性と特長を有する点で評価できる。
	1-2. 使命・目的及び教育目的の反映	桜美林大学	長期ビジョンをもとに、それに向けての中期目標の策定や学園創立 100 周年に向けてのプログラム構築プロセスをはじめ、毎年度の事業計画の策定を通じて、法人部門との連携のもとに実行に移す体制については評価できる。
		岡崎女子大学	「『建学の精神』エッセイコンクール」を開催し、学生に対して建学の精神の周知を図るとともに、学生が建学の精神と自分自身の生き方を結びつけて考える機会となっている点は評価できる。
		事業創造大学院大学	使命・目的、育成すべき人材像や能力を分かりやすい図で表示するなど、あらゆる媒体で明快に示していることは、学内外への周知や理解を進める点で評価できる。
		事業創造大学院大学	使命・目的の実現に向け「将来計画および次期中期計画」を定め、六つの領域の長期基本方針のもと、重点施策を策定し、これを事業計画にも反映させて実現に取り組んでいる点は評価できる。
		仙台大学	東北地区唯一の体育スポーツ系大学の使命として、個性・特色を生かした、「スポーツ・フォア・オール」という基本理念を明示し、学生間にもその理念が浸透している点は評価できる。
		仙台大学	スポーツ健康科学研究実践機構は、住民の健康を多面的に維持向上させる活動を地域と密接に連携しながら展開し、「身体活動」を軸とした体育スポーツ系大学の社会的役割を意識した教育研究機関として特長的であり、評価できる。
	基準 2. 学生	2-1. 学生の受入れ	桜美林大学
サイバー大学			平成 27(2015)年度までの入学定員を大きく割込む状態から、さまざまな施策を継続的に実施し、入学者数を順調に増やしてきた点は評価できる。
田園調布学園大学			入学後に新入生に対してアンケートを実施し、集計結果の分析を学生募集活動の実施計画策定に活用している点は評価できる。
田園調布学園大学			入学前課題の結果を、アドバイザーが学生の学修指導に利用し、導入教育につなげている点は評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 2. 学生	2-2. 学修支援	桜美林大学	学修支援体制として、専任教員が入学から卒業までの4年間、学生一人ひとりに学修面の指導や助言を行う「アドバイザー制度」などを活用し、成績不振学生の対応を積極的に行い、一定の成果を挙げている点は評価できる。
		神田外語大学	教員への教育活動支援として、学生が学生からの語学学習に関する相談を受けアドバイスをする、留学生ボランティアと学習者がパートナーとなり、互いの言語を学び合うなど、学生同士の支援活動の仕組みが多数用意されている点は評価できる。
		事業創造大学院大学	担当教員・副査・副指導教員の3人による相談体制をとり、一定回数以上休んだ学生へのフォローを行う他、全ての講義を録画し、復習や欠席した講義の視聴に活用するなど学修支援の充実が図られている点は高く評価できる。
		仙台大学	臨床心理士の資格を有する教員を委員長とする「修学サポート委員会」が、履修科目において欠席が目立つ学生に個別面談を行うなど、中途退学、休学及び留年の可能性のある学生に適切に対応していることで退学率が低く抑えられており評価できる。
		田園調布学園大学	学籍異動と成績・出席状況等のデータをもとに分析し平均授業出席率が一定程度低い学生の傾向を明らかにし、中途退学の防止として対策を講じている点は評価できる。
		田園調布学園大学	障害のある学生について、在学生に対してはアドバイザー、新入生に対しては保健・衛生委員が意見を聴取するなど、学修支援を行う体制が確立されており、SD(Staff Development)研修にて学内者に加えて兼任教員に対して理解を求めるなど、全学的な合理的配慮を啓発し、リーフレットなどで教職員や学生に周知がなされている点は評価できる。
		別府大学	留学生に対して、能力に応じた日本語の学修支援が行われており、入学後一定期間は寮生活を義務付けることで、きめ細かい指導が行われている点は評価できる。
		了徳寺大学	教職員による各種学内委員会や教員による学生担任制度と職員による学生支援課とが協働した学修支援体制が構築され、更に助手を活用しての入学前準備教育、初年次教育、保護者懇談会などの学修支援が進められていることは評価できる。
		2-3. キャリア支援	岡崎女子大学
	金沢星稜大学		キャリア支援として、洋上就職合宿クルーズ「ほし☆たび」、難関企業への就職を目指す学生のための「MOON SHOT abroad」「就職合宿」等、特色ある就職支援プログラムを企画・運営していることは、高く評価できる。
	金沢星稜大学		学生の就業意識を向上させ、職業選択の視野を広げるプログラム「CDP」を導入して、安定した実績を上げていることは、高く評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 2. 学生	2-3. キャリア支援	神田外語大学	インターンシップの支援体制について、「神田外語大学 ASIA Internship Program」など、海外インターンシップ制度が充実している点は、異文化理解及び海外での就労感等の育成など、キャリア教育上効果的であり、評価できる。
		事業創造大学院大学	「EIT」や「アントレデザイン塾」は、起業や事業創造意欲の旺盛な学生が正課での知識を更に発展させる正課外プログラムであり、大学の教育理念とも合致した独自性が認められる点は高く評価できる。
		仙台大学	「プロ球団とのアカデミックパートナーシップに基づく地域創生型スポーツ社会モデル形成事業(平成30(2018)年度私立大学研究ブランディング事業)」におけるインターンシップは、学生のキャリア形成において非常に有効なプログラムであり評価できる。
		日本医療科学大学	放射線技術学会等各種学術大会への学生参加の支援など、大学教育の取組みの成果の一例として、過去3年間高い就職率を維持している点は評価できる。
		広島文教大学	保育を学ぶ学生を対象に、公務員採用試験、就職活動での取組み及び実技試験等について4年次生が後輩に伝える「顔晴り(がんばり)の会」をはじめとした教員採用試験等の就職活動に向けた取組みについては評価できる。
	2-4. 学生サービス	桜美林大学	多様なタイプの学内奨学金制度を設けることで、細やかな経済的支援を行っていることは評価できる。
		神田外語大学	学生寮について、留学生と日本人学生が同居して衣食住に関わる文化の違いを肌で感じることができる国際寮のほか、英語圏の国際協定校への留学に備えて個別面談や文化イベント等の指導を受けられる女子寮があり、日常生活の支援にとどまらず言葉と文化を学べることは高く評価できる。
		仙台大学	設備の整ったAT ルームを設置しており、スポーツ医科学に関する教育・研究のみならず、学生アスリートの競技力の維持・向上に寄与している点は評価できる。
		四日市看護医療大学	「四日市看護医療大学育成会奨学金」を設け、学生への経済的な支援を実施していることは、四日市市との公私協力の点からも評価できる。
	2-5. 学修環境の整備	神田外語大学	学生食堂「アジア食堂(食神)」が、日本アジアハラル協会「ムスリムフレンドリー・ハラル証明」を取得するなど、食文化について学ぶことができる教育施設となっている点は評価できる。
		別府大学	大学には、「別府大学附属博物館」「大分香りの博物館」があり、これらの博物館は、全ての学部において、学生の教育及び研究に利用されている点は評価できる。
		四日市看護医療大学	女子更衣室入口に、指紋認証システムと防犯カメラを設置し、セキュリティに万全を期している点は高く評価できる。
	2-6. 学生の意見・要望への対応	桜美林大学	「学生満足度調査」で出された意見に対しては、対応する部署からステートメントの形で回答する体制を整備し、的確なフィードバックを実現していることは評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 2. 学生	2-6. 学生の意見・要望への対応	事業創造大学院大学	FD 部会が講義アンケートをレビューし、カウンターコメントを学生にフィードバックする仕組みをはじめ、入学から修了に至るまで定期的にアンケート調査、インタビュー、個別面談を行い、学生の要望を把握し、改善に生かす取組みは高く評価できる。
		仙台大学	各年度、学生主体の授業づくりのための FD 研修会において、「主体的・対話的な深い学びを実現するための授業のかたち」をテーマに掲げ、学生参画のもと教員とのグループ討論を実施し、その成果を報告書「SUF D Report」として毎年発行していることは評価できる。
基準 3. 教育課程	3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定	サイバー大学	ディプロマ・ポリシーを踏まえて科目ごとに到達目標を示す「スキルセット」を全科目で設定し、単位認定を行っていることは高く評価できる。
		長崎国際大学	各科目の担当者がディプロマ・ポリシーに示された五つの能力（「専門力」「情報収集、分析力」「コミュニケーション力」「協働・課題解決力」「多様性理解力」）の各項目の評価割合をシラバスに明記し、それに基づいて成績評価を行っていることは評価できる。
	3-2. 教育課程及び教授方法	愛知工業大学	FD 委員会の取組みの一つとして授業参観を実施しており、教員が所属学科以外の授業も参観でき、授業改善のための報告書等を介して参観者と授業担当者が情報を共有して授業改善を図っている点は評価できる。
		神田外語大学	学生に自立学習を促すための各種施設設備などの学修環境や指導体制が整備され、専攻言語ごとに各組織が正課内外で連携して教育に当たっている点は高く評価できる。
		サイバー大学	平成 29(2017)年 11 月に学習管理システム「Cloud Campus」が「第 2 回 IMS Japan 賞」の最優秀賞を授与され、また、LTI®(Learning Tool Interoperability®)のツールプロバイダーとして認証されたことは高く評価できる。
		サイバー大学	授業コンテンツ開発にインストラクショナルデザインの手法を導入し、インストラクショナルデザイナー等の専門スタッフが、授業改善のためのコンサルティングを通して担当教員を補助し、教育内容の質保証を組織的にしていることは高く評価できる。
		事業創造大学院大学	「シラバス執筆要領研修会」を実施し、シラバスの記載内容の統一、講義アンケート結果を踏まえたシラバスの作成、教務委員会による点検、不十分な場合の改訂依頼等を実施している取組みは評価できる。
		仙台大学	英語教育において、学生の興味・関心に応じた授業内容とするために、スポーツ関連の題材を多く取入れたオリジナルテキストを作成し、活用している点は評価できる。
		田園調布学園大学	「学生による授業アンケート」の集計結果に基づいて、改善が必要である専任教員に対しては、授業改善の方策等をまとめた報告書を提出させ、面談によって改善計画の具体的な内容について聴取する組織体制を整備して運用していることは評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点	
基準3. 教育課程	3-2. 教育課程 及び教授方法	明海大学	「明海大学浦安キャンパス課題探究活動支援規程」に基づき、学生の実社会体験活動に係る経費を支給し、アクティブ・ラーニングの推進を図っている点は評価できる。	
		明海大学	全学部において、海外研修費用の全額を大学負担とする学生奨学海外研修派遣制度を設け、国際性の涵養に努めていることは評価できる。	
		了徳寺大学	各学科において科目履修の先修条件を設定し、カリキュラム・ポリシーに沿った教育課程の体系的や順序性を担保する仕組みを運用していることは評価できる。	
	3-3. 学修成果 の点検・評価	サイバー大学	授業アンケートのフリーコメントを分析し、「学生の声を活かしたサイバー大学ティーチングティップス集」として取りまとめ、教員に提供し、授業改善に積極的に活用していることは高く評価できる。	
		事業創造大学院大学	学外者を中心に構成される「諮問委員会」を設置し、教育の質向上に関わる学長の諮問機関として機能させている点は、特色ある取組みとして評価できる。	
		田園調布学園大学	ディプロマ・ポリシーに基づく課程修了時の資質・能力を学修目標として設定し、それに対する到達度を尺度で示す評価基準表として作成したルーブリック評価を学期ごとに行って学生の学修成果を把握し、当該学生の学修目標に対する到達度を客観的に評価して今後の学修計画に必要な指導・助言を行っていることは評価できる。	
		長崎国際大学	全ての授業科目でアクティブ・ラーニングを行い、学びと教育のプロセスを可視化する「ポートフォリオ」を日常的に活用することにより、ホスピタリティ・ルーブリックを用いたディプロマ・ポリシーの達成度の評価が定期的に行われている点は高く評価できる。	
	基準4. 教員・職員	4-1. 教学マネジメントの 機能性	桜美林大学	学長補佐に事務職員である学務部長を配することにより、ガバナンス強化とともに、教学マネジメントの円滑な運営を実現していることは評価できる。
			日本医療大学	大学事務ハンドブックを作成し、職員の職務に必要な法令、答申等を整理するとともに、事務局各グループの主な業務ごとの業務手順、執行方法等を示したワークマニュアルを作成し、活用していることは評価できる。
4-2. 教員の配置・ 職能開発等		神田外語大学	ネイティブの教員の任用について、国内外での採用活動を積極的に行い、学生への実践的な学修機会を提供している点は評価できる。	
		神田外語大学	研究成果の学会発表を評価項目に取入れ、財政的にも積極的に支援しており、相当数の教員が海外の学会や「全国語学教育学会(JALT)」での発表を行っていることは高く評価できる。	
		事業創造大学院大学	実務家教員を多数配置していることや多数の実務経験がある客員教授を迎え入れており、大学が目指す「次代をリードするアントレプレナーの育成」に向け実践的な教育活動を支える一助となっていることは評価できる。	

基準	基準項目	機関名	優れた点	
基準 4. 教員・職員	4-2. 教員の配置・職能開発等	田園調布学園大学	教員相互の研修機会として授業公開を全教員参加で実施し、集められた情報を授業改善に役立てていることは評価できる。	
		桜美林大学	建学の精神を具現化するために、語学研修に重点を置いた多様な SD 研修の機会を提供している点は評価できる。	
	4-3. 職員の研修	神田外語大学	国際的かつ多角的視座が必要とされる職員の語学力向上に資する取組みとして、「職員の半数以上が TOEIC800 点以上を取得」を目標にし、平成 25 (2013) 年度から毎年度、専任職員全員へ TOEIC スコアの提出を義務付けており、対策講座の提供や海外留学を推奨している点は高く評価できる。	
		事業創造大学院大学	法人内 3 大学間での人事関連研修制度（事務職員対象の SD 研修を含む）が充実しており、新任者研修、人事考課者研修、セカンドキャリア研修、昇任研修、階層別研修など職員の能力向上への取組みは、評価できる。	
		仙台大学	若手職員に修士課程に進学する機会を与え、職員としての資質向上を図っている点は評価できる。	
	4-4. 研究支援	田園調布学園大学	国内外での長期にわたる教員研修制度、学内の共同研究制度を設けて、研究活動を積極的に支援していることは評価できる。	
		田園調布学園大学	競争的研究資金の積極的な獲得を可能とするために、科学研究費助成事業補助金の応募に際しては個人研究費にインセンティブ経費を加算することで、令和元 (2019) 年までの採択研究資金が増加していることは評価できる。	
		田園調布学園大学	科学研究費助成事業をはじめとした各種財団等の研究助成金の導入に組織全体で取組み、成果が挙げられていることは評価できる。	
		明海大学	埼玉県では唯一の組織となる「歯科法医学センター」を設置し、一般歯科臨床と異なる観点からの社会貢献を果たしていることは高く評価できる。	
		明海大学	「不動産研究センター」及び「ホスピタリティー・ツーリズム総合研究所」を設置し、産学連携による研究活動を行っていることは評価できる。	
	基準 5. 経営・管理と財務	5-1. 経営の規律と誠実性	田園調布学園大学	災害時に備え、想定根拠を明確にして食料や水、防災用品（毛布、簡易トイレなど）の必要数を算出するなど、計画的に学内に備蓄・更新しており、学生及び教職員の安全面に備えていることは評価できる。
		5-3. 管理運営の円滑化と相互チェック	桜美林大学	学校法人の中期目標の達成に関する PDCA サイクルを実質的に循環させる機関として、「事業推進統括委員会」を設置し、機能強化している点は評価できる。
			広島文教大学	常勤監事が毎年度作成する「監事監査報告書」の内容は体系的に整理され、関係資料を添付するとともに、細部までの的確に記載し監査の結果として総括していることは、評価できる。
	5-4. 財務基盤と収支	サイバー大学	通信制学部のみでの大学として、近年の入学者数の増加及び在学生の履修継続率の向上に伴う授業料等の収入増加により、大学事業単体での営業損益が平成 27 (2015) 年度以降連続で安定的に黒字を達成している点は、評価できる。	

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 5. 経営・管理と 財務	5-4. 財務基盤 と収支	仙台大学	長期財務計画において、財務目標シナリオと財務限界シナリオを定めて、それらの間に財務状況が収まるように運営を行い、財務構造の安定化へ努めている点は評価できる。
		長崎国際大学	平成 30(2018)年度は私立大学等改革総合支援事業 4タイプに選定され、平成 29(2017)年度は 5タイプ 全てに選定されたことは高く評価できる。
		別府大学	財務基盤において、長年にわたり安定した収益力を維持しており、かつ無借金であり、収入及び支出のバランスのとれた状況にある点は評価できる。
	5-5. 会計	日本医療大学	理事長直属の内部監査室では、年間の監査計画に従い、会計処理を含む業務状況について監査を実施し、監査結果は理事長に報告され、被監査部局からの改善報告書が提出されており、相互チェックが適切に機能していることは評価できる。
	基準 6. 内部質保証	6-1. 内部質保証 の組織体制	事業創造大学院大学
仙台大学			平成 30(2018)年 5 月に「第三者評価委員会」を設置し、自己点検・評価に外部の高等教育関係者の意見も取入れていることは評価できる。
長崎国際大学			内部質保証の推進のため、平成 30(2018)年 2 月に「長崎国際大学 内部質保証の基本方針」を定め、継続的な改善活動の循環プロセスを構築し、大学の理念・目的、教育目標及び各種方針の実現に向けて、恒常的に改善・改革を促進していることは評価できる。
6-2. 内部質保証 のための自己 点検・評価		桜美林大学	IR・アーカイブセンターが毎年度発行する「桜美林大学 Fact Book」は、学校法人全体の教育活動を客観的なデータから大局的に見ることができる資料として評価できる。
		事業創造大学院大学	自己点検評価委員会が評価の「ガイドライン」を作成、それをもとに全ての委員会が「自己点検・評価の仕組み」を自律的に作成し、自らを評価・改善する取組みは、全分野の質向上に効果があり高く評価できる。
		仙台大学	IR 部門が中心となって調査・データ収集を行ったデータをもとに事業を組立て申請した、スポーツ庁の平成 30(2018)年度「大学スポーツ振興の推進事業」に選定されるなど、IR 機能の活用が有機的に行われ始めていることは評価できる。
		田園調布学園大学	大学独自の「自己点検評価書」を作成する際に外部の協力団体からの意見を取入れるなど自己点検・評価活動に学外者の参画を継続的に得ていることは評価できる。
		四日市看護医療大学	「年次活動計画報告書」や学生生活調査のまとめ、卒業時到達目標ごとの自己評価等をホームページで積極的に公開していることは高く評価できる。
6-3. 内部質保証 の機能性		事業創造大学院大学	自己点検評価委員会と将来計画推進委員会が一体的に活動し、評価の結果が改善の方針に反映できる仕組みとなっており、また教務委員会、演習委員会、「SD・FD 委員会」が一体となった内部質保証の仕組み、取組みは先進的で高く評価できる。

2. 短期大学

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 2. 学生	2-4. 学生サービス	安田女子短期大学	学生食堂では学生生活及び学修に配慮して、昼食だけではなく朝食や夕食も提供しており、特に朝食については令和元(2019)年6月から授業期には恒常的に無料で提供し、健康的な生活を支援していることは評価できる。
	2-5. 学修環境の整備	安田女子短期大学	1号館のラーニング・コモンズ及びアカデミックサポートエリアによりグループ学修やプレゼンテーション、ワークショップ等、目的に応じた学生の自主的学修環境を整備し、利用率の向上を図っていることは高く評価できる。
基準 3. 教育課程	3-2. 教育課程及び教授方法	安田女子短期大学	「まほろば教養ゼミⅠ」「まほろば教養ゼミⅡ」を必修科目として位置付けるとともに、教育課程外で「新入生歓迎オリエンテーションセミナー」「保育科展」「安田子ども劇場」を実施するなど、教養を涵養するためのさまざまな機会を設けていることは評価できる。
基準 4. 教員・職員	4-3. 職員の研修	安田女子短期大学	事務職員に対する育成評価制度を導入し、丁寧な人材育成に努めていることは評価できる。